



証券コード：4299

## 株主メモ

|                        |  |
|------------------------|--|
| 事業年度                   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会                 | 毎年6月   |
| 定時株主総会基準日              | 毎年3月31日  |
| 剰余金の配当の基準日             | 毎年3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)   |
| 単元株式数                  | 100株   |
| 公告方法                   | 電子公告<br>(公告掲載URL (http://www.himacs.jp/)ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。) |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同事務取扱場所                | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部   |
| お問合せ先                  | 東京都江東区東砂七丁目10番11号(〒137-8081)<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>0120-232-711 (通話料無料)                          |

### 【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 証券会社等の口座に記録された株式

| お手続き、ご照会等の内容  | お問合せ先                     |  |
|---|---------------------------|--|
| 郵送物等の発送と返戻に関するご照会<br>支払期間経過後の配当金に関するご照会<br>株式事務に関する一般的なお問合せ | 株主名簿管理人                   | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>TEL 0120-232-711 (通話料無料) |
| 上記以外のお手続き、ご照会等  | 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。 |  |

### 特別口座に記録された株式

| お手続き、ご照会等の内容   | お問合せ先           |  |
|--|-----------------|--|
| 特別口座から一般口座への振替請求<br>単元未満株式の買取(買増)請求<br>住所・氏名等のご変更<br>特別口座の残高照会<br>配当金の受領方法の指定※ | 特別口座の<br>口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>TEL 0120-232-711 (通話料無料)   |
| 郵送物等の発送と返戻に関するご照会<br>支払期間経過後の配当金に関するご照会<br>株式事務に関する一般的なお問合せ                    | 株主名簿管理人         | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     【手続き書類のご請求方法】<br/>                     音声自動応答電話によるご請求<br/>                     0120-244-479 (通話料無料)<br/>                     インターネットによるダウンロード<br/> <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a> </div> |

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選びただけません。

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunusi.com> アクセスコード **4299**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com



# Business Report

## 第33期 決算のご報告

平成20年4月1日 - 平成21年3月31日

## 株式会社 ハイマックス

### 【横浜開港150周年(開港広場、はまみらい)】

横浜は今年で開港150周年を迎えます。

嘉永6年(1853年)、アメリカ東インド艦隊・ペリー司令長官が率いる4隻の黒船が神奈川県・浦賀沖に現れました。目的は日本の鎖国政策を破棄させ、開港させることでした。翌年の安政元年(1854年)、江戸幕府はアメリカと日米和親条約を締結しました。その後、アメリカ側の交渉役は日本総領事ハリスへと引き継がれ、安政5年(1858年)、日米修好通商条約が締結されました。そして、同条約に沿って安政6年(1859年)、横浜に港が開かれました。現在、関内地区に位置する「開港広場」には、地球儀の形をした日米和親条約の記念碑が建てられています。

また、開港150周年にあたり、シンボルの一つとして、新品種のバラが選定され、このバラの名称は「はまみらい」と名づけられました。明るいうさモンピンクの四季咲き大輪種(直径13~15cm)で、やや酸味のある甘い芳香が特徴です。





代表取締役社長

前田 礼太

## Profile

|         |  |
|---------|--|
| 昭和56年4月 | 日立建機株式会社入社                                   |
| 平成15年8月 | 同社人事労政・業務改革担当部長                              |
| 平成16年8月 | 同社業務改革推進本部プロジェクトマネージメント部長兼SCM推進室部長           |
| 平成19年4月 | 同社業務改革推進本部IT推進室企画部長兼プロジェクトマネージメント部長兼SCM推進室部長 |
| 平成20年4月 | 当社専務執行役員 事業開発本部副本部長                          |
| 平成20年6月 | 当社代表取締役専務 事業開発本部、人材開発本部管掌                    |
| 平成21年4月 | 当社代表取締役社長 現在に至る                              |

## 人材と技術を源泉とする 新たなビジネスモデルの創出と 経営基盤の変革を柱とする 「成長のための事業構造改革」を推進

### >>> 社長に就任された経緯、および抱負をお聞かせください。

私は昨年4月に入社以来、事業構造の改革に取り組んでまいりました。中期的に見ると当社が事業活動をしているIT業界には困難な経営課題が山積しており、ビジネスモデルの変革を柱とする「成長のための事業構造改革」が当社にとって最重要の経営課題と認識していたからです。この課題を克服するためには、経営陣の若返りと構造改革の先頭に立ってきた私自身がトップとして陣頭指揮することが望ましいという経営幹部の方々からの要請を受け、社長に就任することになりました。

当社は創業以来、「公明正大」「自主独立」を経営理念にしてきました。「公明正大」であることは、企業の社会的責任が問われる今日、より重要性を増すものであり、また「自主独立」、すなわち自分の力で、自分の意思で、自分の責任において事を成すことは当社が発展するための前提となる大切な精神です。

私は先人たちが築いてきたこの経営理念を引き継ぎ、社員にも、その意味を再認識してもらいたいと思っています。

また、お客様に対しては、当社の企業としての姿勢をこれまで以上にアピールし、「ハイマックスなら〇〇」「〇〇と言えばハイマックス」と言われるようなブランド力を構築していきたいと考えています。

### >>> 当社の強みはどこにあると思われますか？

優良なお客様に恵まれ豊富な取引実績を持っていることは当社の大きな強みです。また、真面目で責任感のある人材と、更には「人」を大切にす風土や健全な財務体質も当社の事業を支える基盤であると考えています。多くの企業が昨年秋からの不況で厳しい状況に直面していますが、この時期に当社が前向きな事業構造改革にチャレンジできるのも、こうした経営基盤があるからこそだと思います。

### >>> IT業界を取り巻く状況・市場環境についての認識を教えてください。

ユーザー企業がグローバル化を進める中で国内のIT投資は鈍化傾向にあります。一方、オフショア先であった中国やインドのSI企業が日本に逆上陸するなど、IT業界では伸び悩むマーケットを多くの企業が奪い合う構図が生まれています。また、国内の大手SI企業やメーカーは開発工程だけでなく、コンサルティングや保守・運用など、事業領域の範囲やウエイトを精力的に見直しております。こうした中、開発工程を得意とする当社への要求もより高度でシビアなものになっているのが実情です。

また、今後IT業界は再編淘汰が避けられないと考えられますが、当社が生き残るためには独自の地位を築くことが不可欠であり、具体的には人材と技術を源泉とする新たなビジネスモデルを構築していくことが私の使命だと考えています。



### >>> 昨年4月から取り組まれている事業構造改革が、まさにそうしたお考えを具現化するものですね？

当社の事業構造改革は、中期経営目標とその枠組み、そして実行策を具現化するものです。従いまして、経営の効率化には当然取り組みますが、リストラを主とする構造改革ではありません。中期経営目標は、「競争を凌駕する得意分野の確立」「人材と技術を源泉とする新たなビジネスモデルの構築」「安定収益と強い財務体質の堅持」とし、「事業ポートフォリオの変革による新たな経営基盤の構築と新しい事業領域への挑戦」「人材と活力のある職場づくりと技術への投資による企業力の向上」について、具体化をしていきたいと考えています。

### >>> 事業ポートフォリオの変革とはどのようなことを意味しているのでしょうか？

まず、当社の売上高の約70%が金融機関向けの業務システムの開発とその保守・運用です。今後は、そこで蓄積したノウハウを活かしてシステム開発の上流工程や未開拓の業種への事業領域拡大を考えています。

一方で、保守・運用領域を高度化してITO (ITアウトソーシング) の事業化を図ることも課題です。更には、システム基盤エンジニア育成に向けた教育投資を重点的に行い、エンジニアの質と量を充実させてシステム基盤事業を強化することにより、新たな事業の柱を作り出すことが重要です。また、当社の事業フィールドにある新技術や新事業についても多面的に検討することによって事業ポートフォリオを変革したいと考えています。

# Interview with President

>>> 社長インタビュー

## >>> 「人材と活力ある職場づくり」及び「技術」への投資についてはどのようなことをお考えですか？

当社がお客様に評価されるための源泉は、人材と技術に尽きると言ってもよいと思います。人材育成なしに企業の成長はありませんし、技術力の向上なしに厳しい競争を勝ち抜くことはできません。人材育成については、現場ニーズと事業構造改革の方向性を踏まえて重点教育課題を選定し、積極的な教育投資を行います。また、事業戦略や当社の文化・風土に合った人事処遇制度の導入も課題です。技術については、ナレッジの推進や開発メソッドを確立し、技術部門の機能強化とあわせて新技術、新規事業、業務改善に対する「社内提案制度」を導入することで、現場の知恵を経営・事業活動に活かしてまいります。

## >>> 今年4月1日には組織の変更もありました。その狙いを教えてください。

これまで独立していた各部署を事業統括本部、経営企画本部及び管理本部の3本部がそれぞれ統括することによって、各部署の役割と責任を明確にし、指揮命令系統を分かりやすくしました。

一方で、直接お客様に対応する事業統括本部はもとより、経営企画本部や管理本部も「顧客第一主義」「現場重視」の視点から、現場プロジェクトへの支援に取り組む体制としました。また、組織変更とともに営業マインドの醸成など社員の意識改革も重要な課題と認識しています。



## >>> 現在の経済環境を踏まえながら、今年度の見通しをお聞かせください。

昨年秋からの経済環境の悪化は想像以上のものであり、当面この状況が続くものと思われま。当社のお客様は事業基盤のしっかりした優良企業ばかりですが、それでも各社ともたいへん厳しい業績となっています。当然、その影響は当社の事業・業績を直撃し、今年度の業績は極めて厳しい状況で推移すると見通しております。従って、売上変動に耐え得る経営の効率化を図っていくことが重要で、事業所の再編をはじめとした経費削減など、緊急避難策を既に実行しております。

一方、厳しい経済環境は事業構造改革にとってはマイナス面ばかりではなく、この極めて厳しい環境による危機感を社員と共有し、一丸となって改革に邁進してまいります。そして、この改革を通して、将来的にはコンスタントに100億円超の売上を達成できる企業の土台をつくりたいと考えております。

## >>> 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

私は、「ハイマックスと言えば約束を守る会社」と言われたいと思っております。会社はお客様に品質・納期・コストとお客様の課題解決にお役に立つことをお約束する、会社は社員に雇用や育成の場の提供を約束する、そして株主の皆様には経営計画の達成と配当をお約束することが大切です。

今年度においては、たいへん厳しい事業環境が予想されますが、株主の皆様とのお約束を果たすためにも、業績を確保し、継続的に安定配当を続けたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

# New Organization

>>> 新組織

当社は、情報サービス産業の構造的な変化を踏まえて「成長のための事業構造改革」に着手しております。

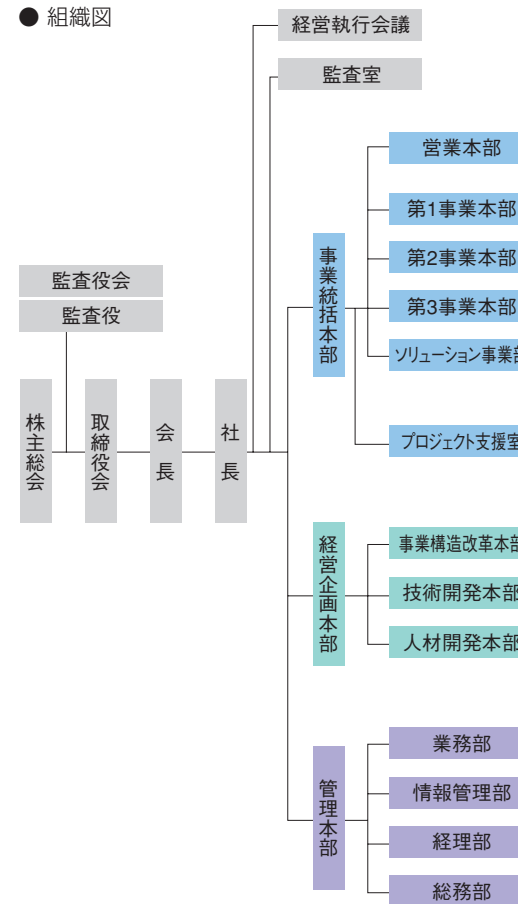
この取り組みを迅速かつ確実に推進するため、本年4月1日付で以下のとおり

3つの本部からなる組織に改正いたしました。

また、当社の利益の源泉は、プロジェクトを成功させることにあります。

「事業統括本部」はもとより、「経営企画本部」及び「管理本部」も含めて全社一丸となって、取り組んでまいります。

## ● 組織図



## 事業統括本部



専務取締役  
事業統括本部長  
渡邊 輝彰

当本部の下には、事業部門に加え営業力強化の観点から営業本部を新設、また、プロジェクト支援室には、プロジェクトマネジメントや社内外のリソース管理の専門スタッフを配置。

お客様のご要望に迅速かつ確に対応することはもとより、事業構造改革の重要なテーマであるシステム基盤及びITOの事業化も進めてまいります。

## 経営企画本部



代表取締役社長  
経営企画本部長  
前田 礼太

当本部の下には、事業戦略・経営計画の企画や事業構造改革の推進部門及び新しい技術の研究やナレッジの蓄積・展開を担当する技術部門並びに社員の採用・育成・活用を担当する人材部門を設置。

人材活用、技術力向上及び事業構造改革を通して当社の将来を創造してまいります。

## 管理本部



常務取締役  
管理本部長  
中沢 秀夫

当本部の下には、経理、財務、総務及び情報セキュリティ等に関する部門を設置。

現場プロジェクトを成功に導くための側面的支援を行うとともに、内部統制を統括し当社の健全かつ安定経営を堅持することを通じて事業構造改革に取り組んでまいります。

## TOPICS

### 株式会社野村総合研究所 保険システム事業本部様より、『最優秀プロジェクト 感謝状』を拝受

当社の売上高の約35%は、保険業界向けのシステム開発であります。昨今、業種や企業規模を問わず景況感の回復の兆しが未だ見えず、企業の情報化投資への姿勢が極めて慎重になる中、保険業界は投資の姿勢を維持しております。

当社は、長年、保険業界向けのシステム開発に携わり、その業務ノウハウを蓄積してまいりました。

この度、株式会社野村総合研究所(以下「NRI」) 保険システム事業本部様より、当社がNRI様から受注し開発した「生命保険システムの保守維持管理」プロジェクトに対して、「高い水準で業務遂行した」とのご評価を得て『最優秀プロジェクト 感謝状』を頂きました。

当プロジェクトは、永年に亘り当社が継続受注しており、特に

近年、受注領域を拡大することができました。

この「生命保険システムの保守維持管理」は、現在稼動しているシステムの品質・性能を維持しつつ、契約管理、保険金支払、保険数理等々のシステム化対応を行うため、高度な業務知識が必要であります。

当プロジェクトでは、パートナー社員も含めた勉強会を定期的実施するとともに、メンバー一人ひとりの育成計画を作成するなど、開発要員の早期育成に注力することにより、メンバー及び開発規模が拡大する中でも、品質及び生産性を更に向上してまいりました。このような実績がこの度の感謝状に結びついたと認識しております。

## TOPICS



当社は、P2P配信技術を応用した企業向け大容量データ配信システム「Fission Orchestra (フィッション オーケストラ)」(略称：F-Orc、フォーク)を開発・販売しています。

### P2Pネットワーク実験協議会 第2回シンポジウム 「コンテンツ配信ビジネスを変革する商用P2Pの最新動向」で講演

P2Pネットワーク実験協議会は、ネットワークを効率的に利用できるP2P配信モデルの構築とその検証などの活動をしており、当社も参画しています。

当協議会が主催するシンポジウムは、国内企業による最新のP2Pソリューション事例及びビジネス化を志向した実証実験など幅広く紹介し、ビジネスの普及の一助となることを目的とし、本年2月19日に第2回目が開催されました。

この中で、当社は、日本全国の通信ネットワーク上に配備されたPCノード群を用いて、F-Orcを使ったP2P方式と従来のクライアントサーバ方式を比較しました。その検証結果、P2P方式がサーバの実効回線速度を遥かに超えたダウンロード速度を実現したことを発表しました。



# Business Overview

## 当期の概況

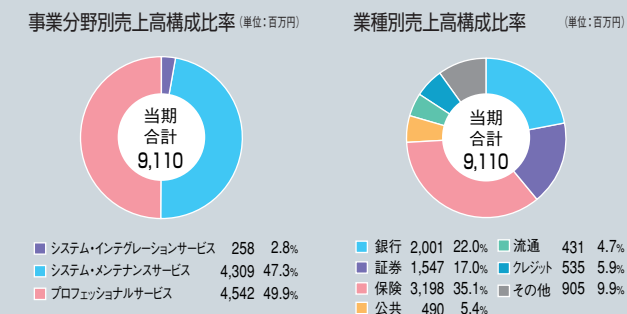
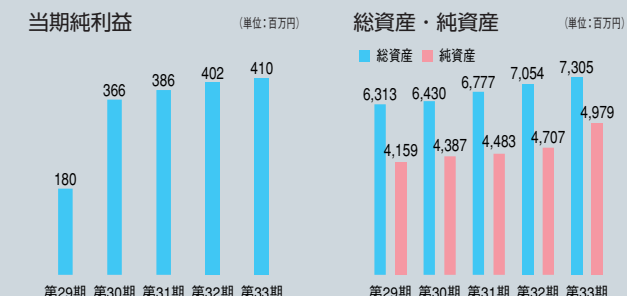
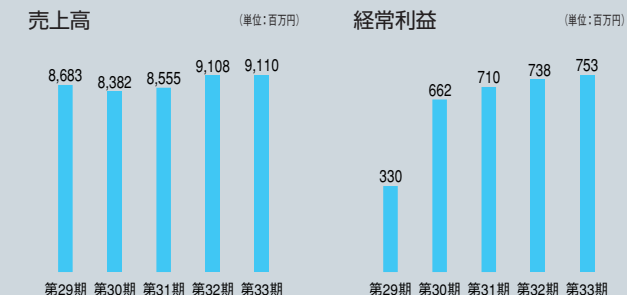
当連結会計年度の売上高は9,110百万円(前期比0.0%増)、営業利益は733百万円(同0.6%増)、経常利益は753百万円(同1.9%増)、当期純利益は410百万円(同1.8%増)となりました。

事業分野別売上高につきましては、システム・インテグレーションサービスは、クレジット業界のエンド・ユーザー向けの案件を獲得したものの、銀行業界向けの大型案件が収束したことなどにより、258百万円と前期に比べ278百万円の減少となりました。システム・メンテナンスサービスは、銀行、証券、保険といった金融業界向けの案件で継続受注したことにより4,309百万円と前期に比べ31百万円の増加となりました。

また、プロフェッショナルサービスは、当社グループが特に得意とする保険業界の需要が堅調に推移したため4,542百万円と前期に比べ249百万円の増加となりました。

また、業種別売上高につきましては、銀行業界向けは2,001百万円(前期比15.2%減)、証券業界向けは1,547百万円(同5.0%増)、保険業界向けは3,198百万円(同15.3%増)、公共向けは490百万円(同27.3%減)、流通業界向けは431百万円(同27.2%減)、クレジット業界向けは535百万円(同14.7%増)、その他905百万円(同18.3%増)となりました。

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前当期純利益747百万円などにより増加いたしました。定期預金の預入による支出△200百万円や法人税等の支払額△407百万円などで一部相殺され、当連結会計年度末の資金残高は3,459百万円と前期より235百万円増加となりました。



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表(要旨)

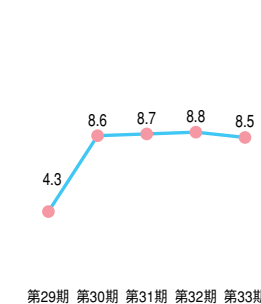
|          | 当期<br>H21.3.31現在 | 前期<br>H20.3.31現在 |
|----------|------------------|------------------|
| 資産の部     |                  |                  |
| 流動資産     |                  |                  |
| 現金及び預金   | 3,459,998        | 3,224,297        |
| 売掛金      | 1,405,666        | 1,597,577        |
| 仕掛品      | 15,579           | 30,215           |
| その他      | 256,957          | 260,711          |
| 流動資産合計   | 5,138,202        | 5,112,801        |
| 固定資産     |                  |                  |
| 有形固定資産   | 40,271           | 51,975           |
| 無形固定資産   | 35,859           | 27,792           |
| 投資その他の資産 |                  |                  |
| 投資有価証券   | 612,879          | 614,439          |
| 長期預金     | 770,000          | 570,000          |
| その他      | 710,843          | 679,798          |
| 貸倒引当金    | △ 2,371          | △ 2,161          |
| 固定資産合計   | 2,167,483        | 1,941,844        |
| 資産合計     | 7,305,686        | 7,054,646        |

(単位：千円)

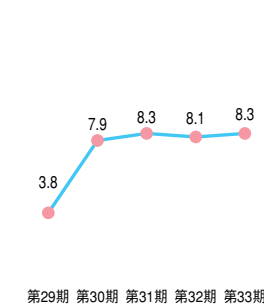
|              | 当期<br>H21.3.31現在 | 前期<br>H20.3.31現在 |
|--------------|------------------|------------------|
| 負債の部         |                  |                  |
| 流動負債         |                  |                  |
| 買掛金          | 242,399          | 291,625          |
| 未払法人税等       | 182,762          | 233,812          |
| 賞与引当金        | 450,115          | 449,723          |
| 役員賞与引当金      | 23,500           | 29,100           |
| その他          | 293,261          | 262,475          |
| 流動負債合計       | 1,192,039        | 1,266,735        |
| 固定負債         |                  |                  |
| 退職給付引当金      | 605,047          | 558,943          |
| 役員退職慰労引当金    | 528,700          | 521,200          |
| 固定負債合計       | 1,133,747        | 1,080,143        |
| 負債合計         | 2,325,786        | 2,346,879        |
| 純資産の部        |                  |                  |
| 株主資本         |                  |                  |
| 資本金          | 689,044          | 689,044          |
| 資本剰余金        | 665,722          | 665,722          |
| 利益剰余金        | 3,913,467        | 3,636,232        |
| 自己株式         | △ 289,438        | △ 286,047        |
| 株主資本合計       | 4,978,796        | 4,704,952        |
| 評価・換算差額等     |                  |                  |
| その他有価証券評価差額金 | 1,103            | 2,815            |
| 評価・換算差額等合計   | 1,103            | 2,815            |
| 純資産合計        | 4,979,899        | 4,707,767        |
| 負債・純資産合計     | 7,305,686        | 7,054,646        |

### 連結財務指標

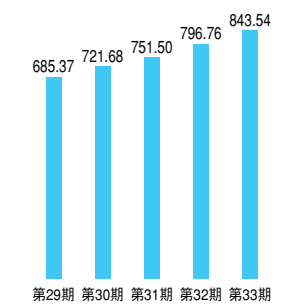
● 自己資本利益率 (単位：%)



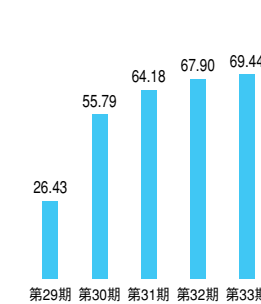
● 売上高経常利益率 (単位：%)



● 1株当たり純資産額 (単位：円)



● 1株当たり純利益 (単位：円)



### 連結損益計算書(要旨)

|              | 当期<br>H20.4.1~H21.3.31 | 前期<br>H19.4.1~H20.3.31 |
|--------------|------------------------|------------------------|
| 売上高          | 9,110,449              | 9,108,025              |
| 売上原価         | 7,139,300              | 7,144,306              |
| 売上総利益        | 1,971,149              | 1,963,718              |
| 販売費及び一般管理費   | 1,237,207              | 1,233,821              |
| 営業利益         | 733,941                | 729,896                |
| 営業外収益        | 25,292                 | 16,165                 |
| 営業外費用        | 6,028                  | 7,227                  |
| 経常利益         | 753,205                | 738,835                |
| 特別損失         | 5,920                  | —                      |
| 税金等調整前当期純利益  | 747,285                | 738,835                |
| 法人税・住民税及び事業税 | 359,000                | 371,000                |
| 法人税等調整額      | △ 21,831               | △ 35,132               |
| 当期純利益        | 410,116                | 402,967                |

(単位：千円)

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

|                  | 当期<br>H20.4.1~H21.3.31 | 前期<br>H19.4.1~H20.3.31 |
|------------------|------------------------|------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 605,280                | 491,797                |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 233,258              | △ 647,999              |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 136,321              | △ 176,717              |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 235,701                | △ 332,918              |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 3,224,297              | 3,557,216              |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 3,459,998              | 3,224,297              |

(単位：千円)

### 連結株主資本等変動計算書

|                     | 当期<br>H20.4.1~H21.3.31 | 前期<br>H19.4.1~H20.3.31 |
|---------------------|------------------------|------------------------|
| 株主資本                |                        |                        |
| 資本金                 |                        |                        |
| 前期末残高               | 689,044                | 689,044                |
| 当期末残高               | 689,044                | 689,044                |
| 資本剰余金               |                        |                        |
| 前期末残高               | 665,722                | 665,722                |
| 当期末残高               | 665,722                | 665,722                |
| 利益剰余金               |                        |                        |
| 前期末残高               | 3,636,232              | 3,352,243              |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 剰余金の配当              | △ 132,881              | △ 118,978              |
| 当期純利益               | 410,116                | 402,967                |
| 当期変動額合計             | 277,234                | 283,989                |
| 当期末残高               | 3,913,467              | 3,636,232              |
| 自己株式                |                        |                        |
| 前期末残高               | △ 286,047              | △ 229,006              |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 自己株式の取得             | △ 3,391                | △ 57,041               |
| 当期変動額合計             | △ 3,391                | △ 57,041               |
| 当期末残高               | △ 289,438              | △ 286,047              |
| 株主資本合計              |                        |                        |
| 前期末残高               | 4,704,952              | 4,478,004              |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 剰余金の配当              | △ 132,881              | △ 118,978              |
| 当期純利益               | 410,116                | 402,967                |
| 自己株式の取得             | △ 3,391                | △ 57,041               |
| 当期変動額合計             | 273,843                | 226,947                |
| 当期末残高               | 4,978,796              | 4,704,952              |
| 評価・換算差額等            |                        |                        |
| 前期末残高               | 2,815                  | 5,290                  |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △ 1,711                | △ 2,475                |
| 当期変動額合計             | △ 1,711                | △ 2,475                |
| 当期末残高               | 1,103                  | 2,815                  |
| 純資産合計               |                        |                        |
| 前期末残高               | 4,707,767              | 4,483,295              |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 剰余金の配当              | △ 132,881              | △ 118,978              |
| 当期純利益               | 410,116                | 402,967                |
| 自己株式の取得             | △ 3,391                | △ 57,041               |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △ 1,711                | △ 2,475                |
| 当期変動額合計             | 272,132                | 224,472                |
| 当期末残高               | 4,979,899              | 4,707,767              |

# Financial Data

個別財務諸表

## 貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

|              | 当期<br>H21.3.31現在 | 前期<br>H20.3.31現在 |
|--------------|------------------|------------------|
| 資産の部         |                  |                  |
| 流動資産         | 4,668,945        | 4,678,082        |
| 固定資産         | 2,181,141        | 1,954,492        |
| 資産合計         | 6,850,086        | 6,632,575        |
| 負債の部         |                  |                  |
| 流動負債         | 1,061,015        | 1,128,457        |
| 固定負債         | 1,133,747        | 1,080,143        |
| 負債合計         | 2,194,762        | 2,208,600        |
| 純資産の部        |                  |                  |
| 株主資本         | 4,654,220        | 4,421,159        |
| 資本金          | 689,044          | 689,044          |
| 資本剰余金        | 665,722          | 665,722          |
| 利益剰余金        | 3,588,891        | 3,352,440        |
| 自己株式         | △ 289,438        | △ 286,047        |
| 評価・換算差額等     | 1,103            | 2,815            |
| その他有価証券評価差額金 | 1,103            | 2,815            |
| 純資産合計        | 4,655,324        | 4,423,974        |
| 負債・純資産合計     | 6,850,086        | 6,632,575        |

## 損益計算書(要旨)

(単位:千円)

|              | 当期<br>H20.4.1~H21.3.31 | 前期<br>H19.4.1~H20.3.31 |
|--------------|------------------------|------------------------|
| 売上高          | 8,150,755              | 8,186,244              |
| 売上原価         | 6,351,853              | 6,371,125              |
| 売上総利益        | 1,798,902              | 1,815,118              |
| 販売費及び一般管理費   | 1,141,774              | 1,147,552              |
| 営業利益         | 657,127                | 667,566                |
| 営業外収益        | 29,489                 | 19,549                 |
| 営業外費用        | 6,018                  | 7,227                  |
| 経常利益         | 680,599                | 679,889                |
| 特別損失         | 5,920                  | —                      |
| 税引前当期純利益     | 674,679                | 679,889                |
| 法人税、住民税及び事業税 | 324,000                | 343,000                |
| 法人税等調整額      | △ 18,654               | △ 31,849               |
| 当期純利益        | 369,333                | 368,738                |

## 株主資本等変動計算書

(単位:千円)

|                     | 当期<br>H20.4.1~H21.3.31 | 前期<br>H19.4.1~H20.3.31 |
|---------------------|------------------------|------------------------|
| 株主資本                |                        |                        |
| 資本金                 |                        |                        |
| 前期末残高               | 689,044                | 689,044                |
| 当期末残高               | 689,044                | 689,044                |
| 資本剰余金               |                        |                        |
| 前期末残高               | 665,722                | 665,722                |
| 当期末残高               | 665,722                | 665,722                |
| 利益剰余金               |                        |                        |
| 前期末残高               | 3,352,440              | 3,102,680              |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 剰余金の配当              | △ 132,881              | △ 118,978              |
| 当期純利益               | 369,333                | 368,738                |
| 当期変動額合計             | 236,451                | 249,759                |
| 当期末残高               | 3,588,891              | 3,352,440              |
| 自己株式                |                        |                        |
| 前期末残高               | △ 286,047              | △ 229,006              |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 自己株式の取得             | △ 3,391                | △ 57,041               |
| 当期変動額合計             | △ 3,391                | △ 57,041               |
| 当期末残高               | △ 289,438              | △ 286,047              |
| 株主資本合計              |                        |                        |
| 前期末残高               | 4,421,159              | 4,228,441              |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 剰余金の配当              | △ 132,881              | △ 118,978              |
| 当期純利益               | 369,333                | 368,738                |
| 自己株式の取得             | △ 3,391                | △ 57,041               |
| 当期変動額合計             | 233,060                | 192,718                |
| 当期末残高               | 4,654,220              | 4,421,159              |
| 評価・換算差額等            |                        |                        |
| 前期末残高               | 2,815                  | 5,290                  |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △ 1,711                | △ 2,475                |
| 当期変動額合計             | △ 1,711                | △ 2,475                |
| 当期末残高               | 1,103                  | 2,815                  |
| 純資産合計               |                        |                        |
| 前期末残高               | 4,423,974              | 4,233,731              |
| 当期変動額               |                        |                        |
| 剰余金の配当              | △ 132,881              | △ 118,978              |
| 当期純利益               | 369,333                | 368,738                |
| 自己株式の取得             | △ 3,391                | △ 57,041               |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △ 1,711                | △ 2,475                |
| 当期変動額合計             | 231,349                | 190,242                |
| 当期末残高               | 4,655,324              | 4,423,974              |

# Stock Information

株式の状況

## 株式の状況(平成21年3月31日現在)

### ●大株主

| 株主名           | 持株数         | 出資比率   |
|---------------|-------------|--------|
| 前田眞也          | 1,036,858 株 | 17.5 % |
| 株式会社前田計画研究所   | 662,496     | 11.2   |
| 山本昌平          | 276,780     | 4.6    |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 237,600     | 4.0    |
| 株式会社野村総合研究所   | 237,600     | 4.0    |
| ハイマックス社員持株会   | 228,223     | 3.8    |
| 日本生命保険相互会社    | 151,200     | 2.5    |
| 富国生命保険相互会社    | 140,400     | 2.3    |
| 株式会社みずほ銀行     | 120,700     | 2.0    |
| 川本清四郎         | 108,000     | 1.8    |
| 明治安田生命保険相互会社  | 108,000     | 1.8    |
| 日立建機株式会社      | 108,000     | 1.8    |

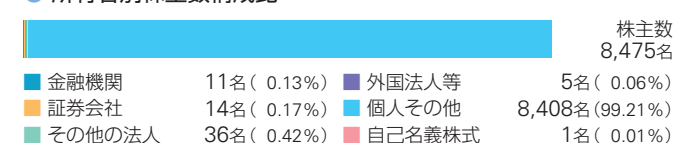
(注) 出資比率は自己株式(302,889株)を控除して計算しております。

発行可能株式総数 ..... 18,000,000株

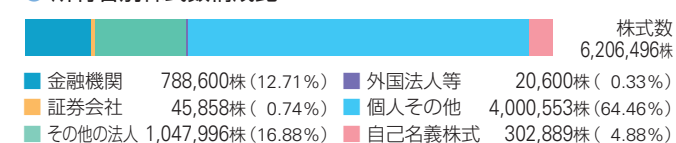
発行済株式の総数 ..... 6,206,496株

株主数 ..... 8,475名

### ●所有者別株主数構成比



### ●所有者別株式数構成比



### ■Web Information ホームページのご案内

当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。



[www.himacs.jp](http://www.himacs.jp)

# Corporate Data

会社概要/役員

## 会社概要(平成21年3月31日現在)

商号 株式会社ハイマックス  
HIMACS, Ltd.

本社所在地 〒231-0005 横浜市中区本町二丁目22番地  
TEL 045-201-6655 (代表)

設立 昭和51年5月21日

資本金 6億8,904万円

従業員数 563名

事業内容 コンピュータ・ソフトウェアのシステム化計画の企画・立案から、設計・構築、稼働後のメンテナンスまでのシステム・ライフサイクルの各領域にわたり高付加価値ソリューションを提供する事業を行っております。

事業所 横浜事業所\* / 関内事業所 / 東京事業所 / みなとみらい事業所

\*横浜事業所は、平成21年5月に閉鎖しました。

## 役員(平成21年6月19日現在)

### ●取締役及び監査役

|         |       |
|---------|-------|
| 代表取締役会長 | 山本昌平  |
| 代表取締役社長 | 前田礼平  |
| 専務取締役   | 山田輝彰  |
| 常務取締役   | 中沢秀夫  |
| 取締役相談役  | 前田眞也  |
| 取締役※1   | 上田栄治  |
| 常勤監査役   | 黒木和典  |
| 監査役※2   | 白木大五郎 |
| 監査役※2   | 青木勝彦  |

\*1 上田栄治は社外取締役です。

\*2 白木大五郎、青木勝彦は社外監査役です。

### ●執行役員

|        |       |
|--------|-------|
| 専務執行役員 | 杉山 隆吉 |
| 常務執行役員 | 田邊 隆吉 |
| 常務執行役員 | 澁谷 隆吉 |
| 執行役員   | 中村 宏  |
| 執行役員   | 青木 稔  |
| 執行役員   | 岡 留   |